

科目名 (英)	文化論 (cultural theory)	必修 選択	必	年次	1	担当教員	中村尚子
学科・コース	トップスタイリスト科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	火曜1限 木曜1限
<p>【授業の学習内容と心構え】(実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 美容の仕事は最新のスタイルを追い続けるイメージが強い中、一見歴史とは無関係のような印象を受けるかもしれない。しかし美容の仕事はサロンワークだけではない。舞台や映画、テレビのヘアメイクでは色々な時代のスタイルを把握しておくことが必要不可欠である。サロンワークにおいても知識の広さからお客様との会話の糸口のひとつにもなると考えられる。美容やファッションの歴史を学ぶ事は美容の仕事していく上で、より仕事の幅を広げていく事になるであろう。長年の現場経験や講師としての豊富な知識から経験談を交えより楽しく分かりやすく授業を展開していくので、文化論に興味を持って受講してほしい</p>							
<p>【到達目標】 日本の理容業・美容業の歴史の理解し、自分の知識として話す事ができる 日本と西洋のファッション文化史の理解し、自分の知識として話す事ができる 礼装の種類についての理解し、自分の知識として話す事ができる</p>							
【使用教科書・教材・参考書】 □ 文化論 CHANELのDVD				【授業外における学習】 暗記を必要とする物も多いので、特にテスト前は復習をしっかりと行う			
回				回	授 業 概 要		
1	【授業単元】第1章第1節 第2章第1～2節 【授業形態】講義 【到達目標】 美容にとっての文化論の必要性を理解する 理容業・美容業の発生について理解する 江戸時代の理容業・美容業について理解する			9	【授業単元】第4章第5～9節 【授業形態】講義 【到達目標】 近世(16～18世紀)のファッション史を理解する 近代(18世紀末～19世紀初め)のファッション史を理解する 近代(19世紀)のファッション史を理解する		
2	【授業単元】第2章第3～4節 第3章第1～2節 【授業形態】講義 【到達目標】 近代・現代の美容業について理解する 日本の理容業・美容業の歴史年表で流れを知る 縄文・弥生・古墳時代・古代(飛鳥・奈良・平安)のファッション史を理解する			10	【授業単元】第4章第10～12節 【授業形態】講義 小テスト 【到達目標】 現代(1910～1920年代)のファッション史を理解する 現代(1930～1950年代)のファッション史を理解する ここまでを復習し小テストに挑む		
3	【授業単元】第3章第3～4節 【授業形態】講義 小テスト 【到達目標】 中世(平安末・鎌倉・室町・戦国)のファッション史を理解する 近世(戦国末・安土桃山)のファッション史を理解する ここまでを復習し小テストに挑む			11	【授業単元】第4章第13～16節 【授業形態】講義 【到達目標】 現代(1960～1980年代)のファッション史を理解する 現代(1990～2010年代)のファッション史を理解する		
4	【授業単元】第3章第5節 【授業形態】講義 【到達目標】 近世(江戸時代)のファッション史を理解する 髷や日本髪の名前を覚える			12	【授業単元】CHANELオートクチュール作成ドキュメンタリー 【授業形態】DVD観賞 【到達目標】 CHANELのオートクチュールファッションショーが完成するまでの流れや、作成に関わる人々のそれぞれの仕事の苦勞を感じとる		
5	【授業単元】第3章第6～8節 【授業形態】講義 【到達目標】 近代(明治・大正・昭和20年まで)のファッション史を理解する 現代(1945～1950年代)のファッション史を理解する 現代(1960～1970年代)のファッション史を理解する			13	【授業単元】第5章第1～2節 【授業形態】講義 小テスト 【到達目標】 和装の礼装について理解する 洋装の礼装について理解する ここまでを復習し小テストに挑む		
6	【授業単元】第3章第9～10節 【授業形態】講義 【到達目標】 現代(1980年代～1990年代)のファッション史を理解する 現代(2000年代以降)のファッション史を理解する 中間テストに向けてのまとめ			14	【授業単元】まとめ 【授業形態】講義 【到達目標】 定期テストに向けて、ファッション史を振り返る		
7	【授業単元】中間テスト 【授業形態】中間テスト 中間テスト解説 【到達目標】 日本のファッション史の復習をし理解を深める			15	【授業単元】定期テスト 【授業形態】定期テスト 定期テスト解説 【到達目標】 文化論全体を振り返り定期テストに挑む		
8	【授業単元】第4章第1～4節 【授業形態】講義 【到達目標】 古代エジプト・ギリシャ・ローマのファッション史を理解する 古代ゲルマンのファッション史を理解する 中世ヨーロッパのファッション史を理解する			【評価について】 小テスト(10点×3回)中間テスト(20点)定期テスト(50点) および授業態度・忘れ物(減点)			
<p>【特記事項】 ポイントはアンダーラインをひくように講義の中でも指示していくので、聞き逃しのないようにチェックをし、テスト勉強に役立てる</p>							